

通告番号 番

前
平成29年6月9日 午 時 分 受 領
後

氏 名 小田桐 たかし ㊟

流山市議会議員 秋間 高義 様

市 政 に 関 す る 一 般 質 問 通 告 書

第 2 回定例会における一般質問を下記のとおり通告します。

質問事項	要旨 (質意を明確、具体的に)
1 教育行政について	<p>(1) 流山おおたかの森駅周辺及び隣接地域における小中学校のより良い教育環境の整備について問う。</p> <p>ア 小山小学校と八木北小学校の学区の見直し案に対する説明会を実施したが、住民や保護者からどんな反応があったのか。</p> <p>イ 平成27年1月に通知された『公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引～少子化に対応した活力ある学校づくりに向けて～』で示された「31学級以上の過大規模校の新增築事業については、分離新設、通学区域の調整等適正規模化のための方策が十分に検討された上でやむを得ない場合に限り国庫負担の対象としています」としているが、市教育委員会の見解を問う。</p> <p>ウ 平成29年4月1日時点作成における児童生徒数の推計値・想定値では、特別支援学級数の据え置きが前提条件のもと、学区変更の有無にかかわらず、平成35年度では小山小学校及び八木北小学校合計で児童数2970人～3080人、93～98学級となる。これは平成29年1月に発表したH34年度想定値(児童数2640～2660人、84学級)からさらに大幅増となっている。また、おおたかの森小学校も当初24学級にくわえ、増築校舎分18学級の合計42学級を上限とした場合、平成31年度推計値で48学級となり、教室が不足してしまう。また当初発表された平成34年度想定値(児童数2420人、70学級)が、平成29年4月作成の平成35年度想定値には児童数2990人、88学級に膨れ上がり、校舎増築、学区変更、新設校建設など現時点の教育環境の整備方針では全国トップ水準のマンモス校が本市内で相次ぐこととなる。教育環境の整備方針の再検討をすべきではないか。</p> <p>エ 平成29年4月1日生徒数366人、12学級のおおたかの森中学校は現校舎内の普通教室として利用可能教室数15学級を平成30年度推計値で超えてしまう。また平成35年度想定値では1220人、36学級となり、文部科学省の分離新設の目安31学級も超える。さらに学区内の小山小学校及びおおたかの森小学校の児童数合計は、平成29年4月1日時点の1997人、67学級から平成35年度想定値5100人、150学級となっていることから、中学校における学区変更だけでなく、中学校新設なども次期総合計画の早い時期における着手も視野に検討が必要と思われるがどうか。</p> <p>オ 新設小学校について問う。</p>

	<p>(ア) 建設候補地が公表されたが、なぜその場所となったのか、確保される面積が必要とされた根拠は何か。</p> <p>(イ) 子どもが少ないまたは住宅そのものが少ない地域で47学級を前提とした新設校建設では、通学路が長距離になる。また、小山小学校・八木北小学校の学区変更の理由の一つである「都市軸道路を横断しないように」という根拠も崩れると思われるがどうか。</p> <p>(ウ) 47学級でスタートするとした根拠として学区割と児童数の推計値・想定値が示されるべきではないか。また学区が分かれるおおたかの森小学校の想定値から普通学級に使用可能教室数上限42学級を考慮すれば、新設校が開設して3年後の平成35年度には新設校47学級のうち46学級が埋まり、さらなる校舎増築となる恐れが生じるのではないか。</p> <p>(エ) 文部科学省大臣官房文教施設企画部施設助成課では、「新設校建設費に2分の1補助金がある」としている。少額の加算を優先したがために、小山小学校及びおおたかの森小学校のように、十分な広さの校庭の確保や将来的な増築、学童クラブ等に影響することがないようにすべきだがどうか。また校舎の新旧やデザインの違いが教育の質にまで格差をもたらしているかのような幻想を抱かせないように配慮やスタンスが必要と思うがどうか。</p>
2 保育行政について	<p>(1) 保育の待機児と解消策について問う。</p> <p>(2) 保育士給与引き上げに千葉県独自の取り組みが始まると報道されているが、今までは本市で支給されないとも聞かれている。本市の対応策について問う。</p> <p>(3) 保育及び学童保育における児童数の推計値・想定値の算出と整備計画の策定について問う。</p>
3 ごみ行政について	<p>(1) あってはならない家庭ごみと事業系ごみの混合がどうして起きてしまったのか、どうやって再発を防止するのか、第1回定例会で「検討する」と答弁していた諸課題について問う。</p> <p>(2) 一般家庭ごみの収集運搬業務委託の今後のあり方について問う。</p>